



能勢分校HP: 

能勢分校

検索



## 能勢分校3期生、ご卒業おめでとう！！

2月28日(火)、豊中高等学校能勢分校第3回卒業式を行い、分校3期生16名が晴れて卒業しました。3期生は入学当初から新型コロナウイルスのため、休校が続くなど活動に制限のかかることが多い高校生活でしたが、その中でできることを見つけ、体育祭、文化祭、修学旅行と絆を深めてきました。当日はマスクを外し、お互いの笑顔を見ることが叶いました。

卒業証書授与、花束贈呈の後、卒業生が作成したスライドを上映し、お世話になった先生方や保護者への感謝の言葉を述べました。その後、卒業式全員でRADWIMPSの『正解』を在校生、列席者の方々に向け心を込めて歌いました。

社会の繋がりが大きく変化した3年間を能勢分校生として過ごしたことは、卒業生の今後にきっと意味のあるものになることでしょう。



## 耐寒遠足を行いました

2月3日(金)、2年ごとに行われる冬の恒例行事、耐寒遠足を行いました。直前まで雪の日が多く道中が心配でしたが、当日は寒いながらも快晴でした。3年生も多数参加し、総勢53名が元気に学校を出発しました。道のりは、歌垣農協前→歌垣山山頂→堀越峠→妙見奥の院→真如寺→仏坂→学校まで約9キロです。ゴールの学校では、PTAの方々が校庭で薪で火をおこしお湯を沸かしていただき、生徒たちはそのお湯でカップラーメンを作り、体を温めました。澄んだ空気の中、仲間との絆も深まり、心地よい疲労感を感じられた一日でした。



## 農場だより&チーム里山



3月22日(水)~28日(火)、阪急うめだ本店にて食農流通コース選択生徒(2年生)とチーム里山の生徒が、「べじたぶるぱーく」と共同開発の加工食品を販売する実習を行います。その事前学習として、1月31日(火)、阪急の担当者の方、「べじたぶるぱーく」の植田さんをお迎えし、『農業の六次産業化について～生産者や小売業者の目線から～』と題し、農場にて事前学習を行いました。また、2月18日(土)にはチーム里山の4名が、販売で売り出すジャム作りを「べじたぶるぱーく」にて行いました。農場で収穫したぶどう、キャンベルアーリーの皮を一つひとついねいにむき、種を取り除き、約30~40分混ぜながら煮こんで瓶に注ぎました。すべてを手作業で行い完成したジャムは、阪急の店頭並びます。これらは常設されていますので、ぜひお立ち寄りください。詳細は能勢分校ホームページに掲載しています。



講師を招いての事前学習



ジャム作りに奮闘中!

募集中!

能勢町外からの入学者を受け入れてくださる里山ファミリーを  
随時募集しています。興味のある方はお気軽にご連絡ください!

能勢町教育委員会 学校教育総務課  
☎072-734-2693  
sidou@town.nose.osaka.jp

# 課題探究GS最終発表会を開催

12月22日(木)3年生全員が7チームに分かれ、浄るりシアター小ホールにて、一年間の成果を発表しました。今年も昨年に続き、能勢・豊能町の抱える問題解決に正面から取り組んだ研究が多く見られました。

多くの方々にご協力をいただきました。  
ありがとうございました。



## 1.【探究コース】

### 里山保全活動をより多くのひとへ ～YouTubeショートバズらせ隊～

「SNSを用いた広報活動」をテーマに、三草山にて行った里山保全活動の様子を「YouTubeショート」を用い発信しました。動画の再生回数の伸びについて検証しました。

協力：大阪みどりのトラスト協会、坂井建築事務所、野間の大ケヤキ資料館

## 2.【食農流通コース】

### 捕獲された鹿肉の有効活用

駆除される害獣(今回は鹿)について有効活用の道を考えました。ジビエ料理について実態調査をしたり、ハム工場に指導頂き、自分たちで鹿肉ソーセージを試作しました。

協力：大阪府猟友会 能勢支部、ハウミア、「能勢の里から」ハム工場

## 3.【食農流通コース】

### ドローンを活用した地域農業への貢献

産業用ドローンを利用し、主に3種の水稲について生育調査を行いました。スマート農業が普及することで農地の維持に貢献できると思いました。

協力：ふるさと創生研究開発機構、秋鹿酒造、農家(谷さん)

## 4.【地域活性コース】

### のせモンカード

#### ～能勢の自然・文化・環境・産物を発信～

能勢町の特産品や地区を多くの人に知ってもらうために、「自然」「歴史」「文化」「産物」4種各13枚計53枚のカードを揃えて遊ぶゲームを提案しました。

協力：能勢町観光ボランティアガイドの会

## 5.【地域活性コース】

### のせむすび掲載への『果てしない』道のり ～俺たちの軌跡～

「のせむすび」という能勢町の情報誌に1ページをいただき、高校生の目線で「新しいお気に入り」を能勢で探す」をテーマに実際に現地へ取材に行き、記事を作成しました。2023年春夏号に掲載されます。

協力：能勢町地域振興課、いちご縁中川、自然の森ファミリーオートキャンプ場、クラインガルテン能勢、ノセボックス、フジコン

## 6.【対人支援コース】

### 老若男女問わず地域の関わりを

#### ～レクリエーションを通して交流を深める～

近年、地域のイベントが減っていることに気が付き、歌垣山登山企画に参加し、レクリエーション活動を行いました。参加者からアンケートを取り考察しました。

協力：歌垣福祉委員会、平岡商店、歌垣山登山参加の皆さん、能勢町総務課、地域振興課、福祉課、

## 7.【対人支援コース】

### 手話 ～言葉には頼らない～

校内の販売実習時に手話が役に立ったことをきっかけに能勢町に手話を広げることができないかを考え、ささゆり学園の5年生に手話の授業を行いました。

協力：能勢ささゆり学園

全チームの発表後、大阪公立大学伊井直比呂教授にご講評いただきました。「たくさんの学びがありました。高校内にとどまらず、外部との連携を広げたことで能勢町全体への発見につながっています。先生、生徒、地域の連携を感じることでできる素晴らしい発表会でした」と締めくくられました。



伊井直比呂先生

### > 2月15日(水) 2年 学習発表会「総合的な探究の時間」

2年生は瀬戸内への修学旅行から学びのきっかけを得た発表が3つ、E-bikeプロジェクトからは交通問題、『MY PROJECT AWARD 2022』の全国大会にエントリーしている蜜蝋(みつろう)とコンポストについての研究発表と続きました。

### > 2月16日(木) 1年 学習発表会「産業社会と人間」

1年生は地方創生、海洋ごみ、栗の活用法、再生可能エネルギーなど、今年の授業での学びの中から自分が興味を引かれたことについて、調べ学習を進めました。



E-bikeプロジェクトは「中山間エリアの高校通学における交通課題の解決と教育的効果の測定」をテーマとする(公財)国際交通安全学会の研究プロジェクトです。東京大学 北村友人教授をプロジェクトリーダーとして、大阪公立大学 吉田長裕准教授、大阪大学 葉健人助教や大学院生から指導を受けています。能勢町の交通課題の解決に高校生が主導して取り組むプロジェクトとして、高い関心が寄せられています。来年度は町全体でこの問題について考えていく予定です。

## 交通安全ワークショップ

大阪公立大学の吉田先生を中心としたワークショップでは、「交通安全行動」をテーマに研究を進めています。E-bike(自転車)を利用するための交通ルールをはじめ、安全な利用方法、危険を回避する方法など、どう考え行動するかをリアルな通学状況の映像を見ながら再考しました。また、E-bikeを能勢町で活用する方法を考えています。来年度は、高校生が身に付けた安全行動を能勢町の中学生に伝える活動を行っていく予定です。

## 交通インフラワークショップ

大阪大学の葉先生を中心としたワークショップでは、「交通インフラ整備」をテーマに研究を進めています。毎日の通学から見えてくる歩行者、自転車ユーザー視点のから、自転車利用の魅力や道路の改善点を能勢町に提案しました。その結果、歩道に覆いかぶさるように茂っていた樹木の伐採や、陥没した舗装道路の補修などが行われているところです。



通学路での交通課題の発見



交通インフラワークショップ



伐採前

伐採後

通りやすくなりました！

E-bikeプロジェクトには能勢・豊能まちづくりの榎原さん、豊中市民エネルギーの会にもご協力いただいています。3月9日(木)には、ひのでエコライフ研究所の山見拓さんをお招きし、能勢分校に設置した太陽光発電パネルをもっと有効に活用する方法や発電パネルの発電電力計測などを考えていきます。

## マレーシア技能実習生が講義



1月31日(火)、1年生と2年生の英語授業に、以前より本校と交流がある(公財)オイスカ関西研修センター(豊能町)からマレーシアの技能実習生メキシさんにお越しいただきました。メキシさんは半年前に来日し、家政を学んでいます。授業は生徒が英語で自己紹介をするところから始まり、メキシさんが英語でマレーシアや現地のオイスカ研修センターでの活動や様子について話しました。最後はクイズがあり、本校の姉妹校アスタ高校のあるマレーシアについて知識を深めることができました。



## ドイツからの留学生が来ました！



先月に続き、ドイツの短期留学生白井海翔(カイト)さんが、能勢でホームステイし、1月30日(月)～2月1日(水)まで能勢分校で授業を受けました。ドイツでは経験できない授業に積極的に参加し、書道では自分の名前を練習したり、農業では自分でそばを打って味わったりしました。放課後は空手道部にも参加しました。また、技能実習生メキシさんの講義にも参加し、交流することができました。ドイツからの留学生との交流で分校生もドイツについて学びを深めました。



カイトさんとメキシさん



書道の授業にて

# 卒業生からのメッセージ！

能勢分校1期生 泉 明日美さん  
大阪青山大学 健康科学部 2年生

私は高校生活の中で、たくさん能勢のことを知り、海外のことも勉強しました。その経験から、昨年10月に能勢町で行われた『能勢地域魅力化フォーラム』では、分校の「ええやん」をお話ししました。地元をたくさん勉強でき、地域の方と身近に関わる事ができること、自然に囲まれ伸び伸びと学びたい事が学べるということがええやん！だと思いスピーチしました。

高校在学中には町役場の方々とドイツ視察研修に行きました。ドイツでは、現地の高校生と交流をし、ともに授業を受け、濃厚な時間の中で価値観・考え方の違いなど日本の中では受ける事ができない多くの刺激を受けました。私は能勢分校で、対人支援というコースを学びました。福祉についてや私の将来の夢である保育士に繋がる勉強もしました。保育所と連携し子どもと関わる時間もありました。こういった授業は他の高校ではないと思います。自分が学びたいという気持ちを存分に発揮させてくれる学校です。そうして私は将来能勢町の保育所で働きたいと思い、大学で勉学に励んでいます。また、豊能町の吉川保育所で実習も経験し、子どもたちと過ごす中で学びを深めました。

高校生の時だからこそできることがたくさんあります。遊びたいという気持ちもとても良くわかりますし、私自身もたくさん遊びました。しかし、学校の行事を一生懸命楽しむことは今しかできないので、高校生の皆さんにも学校での時間を大切に全力で楽しんでもらいたいです。



能勢地域魅力化フォーラムにて



2020年 マレーシア海外実態調査にて



2019年 ドイツ視察研修

## 過去の留学生からの近況報告

### 【エンフジンさんfromモンゴル】2022年 短期留学生

日本から戻ってからは、勉強の埋め合わせをしたり、友達や家族に日本料理を教えたりしていました。また、学校の生徒の前で日本について発表しました。みんなも日本に興味が出てきたようでした。能勢でホームステイをしていた頃、朝に見た風景を思い出し、能勢の自然を描いてみました。私にとっては素晴らしい絵となりました。ぜひ、みなさんに見ていただきたいと思います！

### 【アプリールさんfromスペイン】2022年 短期留学生

昨年8月にスペインへ帰国した時は日本が恋しく、能勢で撮った写真やビデオを見返すのが辛かったのですが、家族や友達と再会し、今はとても元気に過ごしています。新学期が始まり、学校ではたくさんの友達ができ、新しいことを学ぶことを楽しんでいます。また、学校外ではバスケットボールのコーチになる試験に合格し、女の子たちを指導しています。バスケットの練習やバイオリンのレッスンにも通っています。忙しいですがきっと素晴らしい一年になると思います！

### 【アヤさん from インドネシア(2016)、イマンさん from マレーシア(2018)、カオファンさん from タイ(2018)、ヤンさん from ドイツ(2020)】



エンフジンさんが描いた能勢の朝の風景



女子バスケットチームと

過去、能勢高校に来ていた留学生が再び顔を見せに来てくれました。アヤさんは家族と一緒に、イマンさんは長崎大学に在学中の冬休みに友人と遊びに来てくれました！



左から日本語ボランティアの方、ホストファミリー、アヤさんの家族、内田先生、アヤさん、ヤンさん



イマンさん、ホストファミリー本田さんと能勢分校で再会！



現在タイに留学中のイマンさんが能勢で一緒だったカオファンさんと！

**ホストファミリー募集中！** 連絡先：TEL 072-737-0666  
能勢分校 留学生担当まで

毎年、能勢分校には短期・長期留学生がやって来ます。ホームステイ受入れに興味のある方、お気軽にお問い合わせください😊